

循環型社会の木部メンテナンス

# MOKリバ工法

人も地球も元気に!  
 **Make fine**  創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー  
**大谷塗料株式会社**

大阪本社 〒537-0021 大阪市東成区東中本3丁目1番18号  
TEL 06(6976)0251(代) FAX 06(6971)4901

東京支店 〒357-0023 埼玉県飯能市岩沢170  
TEL 042(974)3191 FAX 042(974)2888

九州営業所 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町82番地1  
TEL 0964(22)1903 FAX 0964(22)1799

熊本工場 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町82番地1  
TEL 0964(22)4745 FAX 0964(22)4746  
ISO9001/14001  
認証工場

URL <https://otanipaint.com/>

人も地球も元気に!  
 **Make fine**  Luxury wood paint since 1936  
**Otani Paint co., ltd**

## 美しく、強く、環境に優しい 木部メンテナンスの最上級工法

近年、環境意識の高まりから、再生産可能な資源である木材を活用した建築物が注目されています。

しかし同時に、木材ならではの課題も存在しています。

「一度劣化すると明るい色に戻しづらい」「塗りつぶしでは木質感が損なわれる」「頻繁にメンテナンスする負担が大きい」

MOKリバ工法はそのような課題を解決し、木材が活用される社会=サステナブル(持続可能な)社会を目指す

最上級のメンテナンス工法です。

工法特許番号:第4852170号

国土交通省NETIS認定実績

:新技術KK 150001 A

### MOKリバ工法とは



植物性メディア(研削材)を用いた「エアースラスト処理」

植物油を原料とした自然系塗料での「保護塗装」

2つのセット工法です。

(植物性メディア 荷姿:20kg)

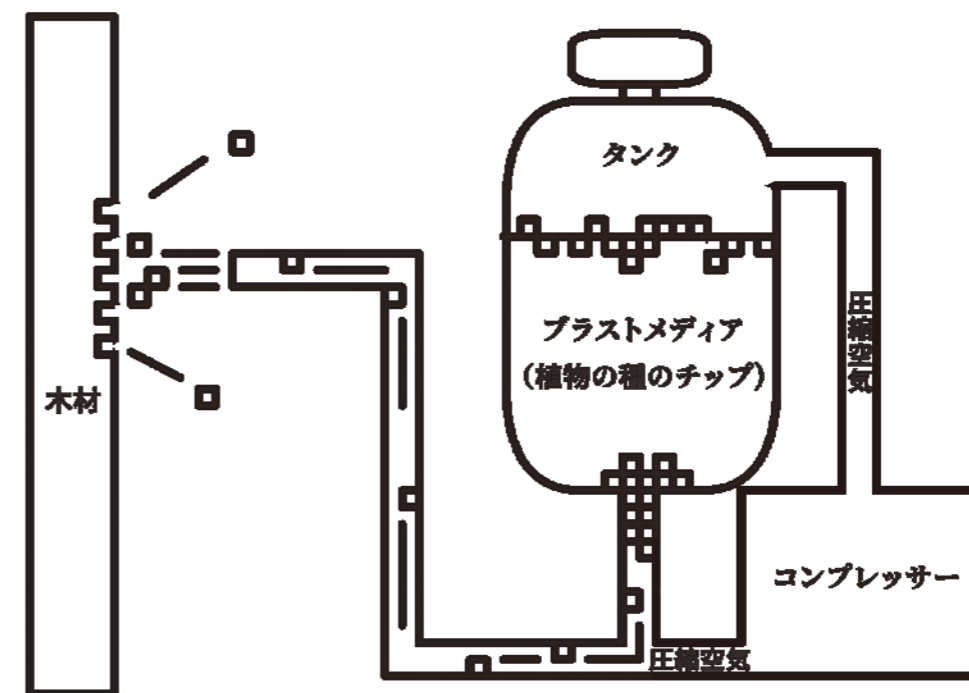
#### 3つの特長

美観の回復

耐久性の向上

環境へ配慮

#### 回路図式





## 美観の回復

ブラスト処理により古い塗装層や傷んだ木部層、カビやコケを除去し木材を健康な状態に蘇らせます。※1

劣化した層を除去することにより、塗りつぶすことなく明るい色へ塗り替えられるため、

新築時に近い木目を活かした仕上がりを得られます。※2※3

植物性素材の中でも硬度が高く、品質にバラツキが少ない桃の種をメディアに使用しているため、幅広い下地を安定して研削することができます。

## 古材の塗り替え仕上がり比較



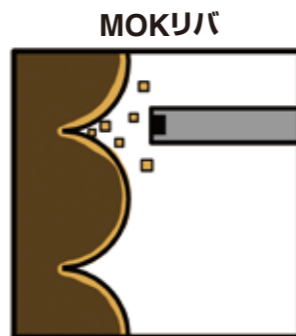
MOKリバブラスト処理  
+  
浸透型塗料  
鮮やかで均一な仕上がり



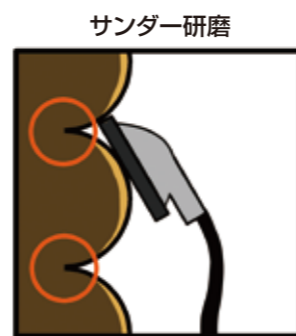
研磨処理  
+  
浸透型塗料  
下地の汚れが透けた仕上がり

- ※1 木材中心部まで及んだ腐食や虫害は改善出来ません。
- ※2 ブラスト処理で木地を削る為、木目の凹凸が強調された仕上がりになります。
- ※3 材種によっては追加でアクリル洗いや等が必要になる場合もございます。

丸太組のログハウス外壁や  
神社仏閣の木製彫刻など  
サンダー研磨では処理が難しい箇所も  
均一に研磨することが出来ます



MOKリバ  
3次元的に研磨が  
当たるため  
凹部でも均一に研磨可能



サンダー研磨  
サンダーが入らない  
凹部には研磨が  
当たらない



熊本県:網田焼きの里資料館  
使用塗料:VATON<sup>®</sup>ウッドプロプラス

## 耐久性の向上

ブラスト処理により木材表面の劣化層を除去すると同時に  
木肌を耕す=塗料(保護成分)が染み込みやすい状態にする  
ことで、木材の耐久性を向上させます。

MOKリバ工法 含浸量 0.15~0.20kg/m<sup>2</sup>(1回塗り)

一般的な塗装(研磨処理)  
含浸量 0.06~0.08kg/m<sup>2</sup>(1回塗り) → 2~3倍

※塗料含浸量は基材の種類や劣化状態、含水率等に左右されますので、あくまでも目安値となります。

## 同じ塗料・同じ色での3年屋外放置後の劣化状態比較

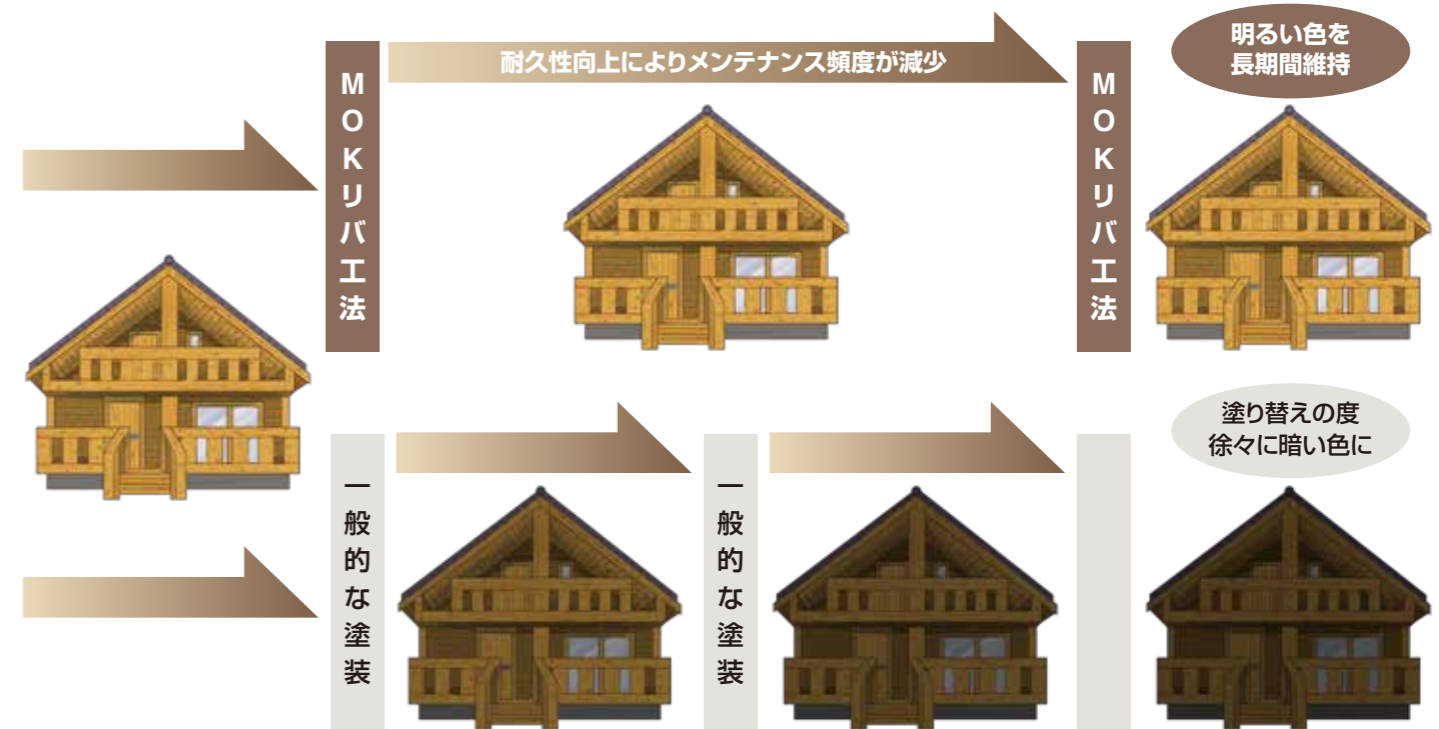


MOKリバブラスト処理  
ひび割れも無くほとんど劣化は見られない。  
テープで剥離しても着色層はほぼ剥  
がれない。



研磨処理  
木材の劣化により表面が細かくひび割れ  
ておりテープで剥離すると着色層が剥  
がれてしまった。

## メンテナンスイメージ





## 環境へ配慮

### <植物性メディア>

プラストで吹き付けるメディア(研削材)の材料は  
完全天然素材のため、周囲に飛散しても微生物に分解されて土に戻ります。  
薬品処理と比べて植栽など周囲への環境負担が少なく  
木材の変色～変形リスクもありません。



### <自然系塗料>

専用塗料は原料に植物油を使用した自然系製品。  
化成品のみを使用した塗料より地球環境に優しいです。  
塗装中の臭いも少なく  
塗装作業者様や近隣にお住いの方への  
負担も少なくなります。

### <木材の長寿命化>

木材は成長の過程で温室効果ガスである  
二酸化炭素を固定化します。  
この作用は木材が廃棄・焼却されるまで持続します。  
木材の耐久性を高め長く使うことは  
サステナブルな社会形成に貢献します。

## 専用塗料ラインナップ

### VATON+ バトンプラス

油性 浸透型 自然系木材保護塗料(WP)

特長:低臭、標準品  
JASS18M307適合 防カビ剤、防腐剤、防虫剤、防蟻剤配合  
荷姿:0.6kg、3kg、13kg



### 水性バトンプラス

水性 浸透型 自然系木材保護塗料(WP)

特長:超低臭、高い安全性が求められる場面へ  
JASS18M307適合 防カビ剤、防腐剤、防虫剤、防蟻剤配合  
荷姿:0.8kg、3.5kg、14kg



### VATON<sup>FX</sup> ウッドプロプラス

油性 浸透型 自然系木材保護塗料(WP)

特長:低臭、高濃度高耐久性のハイグレード品、標準1回塗り  
JASS18M307適合 防カビ剤、防腐剤、防虫剤、防蟻剤配合  
荷姿:14kg ※受注生産品となりますので、3週間程度納期をいただきます。



#### 注意事項

- プラスト処理により、木目の凹凸が際立った仕上がりになります。
- 塗料、植物性メディア(研削材)は必ず専用の製品を使用してください。
- 木材の種類・状態により、別途阿克苏処理等が必要となる場合もございます。
- 植物性メディア(研削材)は自然素材ですが飛散しやすいため、施工時は周辺養生を推奨します。建築物の構造により、屋内にも吹き込み防止の養生が必要となる場合もございます。
- 雨天は施工を避けてください。
- VATON<sup>FX</sup>ウッドプロプラスは樹脂分が多い為、経時により 塗面にチョーキング(白ボケ、粉をふく現象)が発生する場合がございますが、木材保護機能に大きな影響はございません。

#### 標準塗装仕様書

工程	使用塗料	塗装方法	塗装条件 23℃	
			塗付け量(kg/m <sup>2</sup> )	乾燥時間
1	素地調整	MOKリバプラスト処理 (MOKリバプラスト処理後、ケバ立ちが激しい場合はP180~P240等の研磨紙でケバ取り研磨)		
2	VATONプラス 又は 水性バトンプラス 又は VATON <sup>FX</sup> ウッドプロプラス ※上塗り不要	刷毛塗り/ローラー	0.15~0.2	12時間以上
	VATONプラス 又は 水性バトンプラス			
3	VATONプラス 又は 水性バトンプラス	刷毛塗り/ローラー	0.12~0.15	1日以上

- 本番塗装の前に必ず試し塗りをして下さい。
- 使用する前に必ず棒などで底部より、よく攪拌して下さい。また使用中も攪拌して下さい。
- 乾燥・塗り重ね時間は温度、湿度など気象条件や木材の種類により異なります。雨天の日(多湿時)や気温が5℃以下の時は塗装を避けて下さい。
- 上塗り前に、下塗りを十分に乾燥させてから塗装して下さい。
- 色落ちにより衣服を汚すおそれのある部位への塗装は乾燥後ウエスなどで乾拭きして下さい。塗膜は強く擦ると物理的に色が落ち、衣服に色が付着するおそれがあります。また、平面部位は摩擦による色落ちが早い為、こまめに塗り重ねを行って下さい。
- 「VATONプラス #501+ 透明」、「水性バトンプラス #5001+ 透明」、「VATON<sup>FX</sup> ウッドプロプラス M-01 透明」の単独使用は避けて下さい。(顔料を配合しておりませんので、紫外線に対する耐候性は有りません。)
- 水性バトンプラスは油性タイプより表面乾燥が速い為、色ムラが生じる場合がございます。事前に試し塗りの後、仕上り確認を推奨します。
- 塗料の付着したウエスや塗料カスは自然発火の恐れがありますので、廃棄するまで必ず水につけて下さい。
- 塗料の廃液、洗い液は下水などに流さないで下さい。地方自治体の処分方法に従って処分して下さい。
- その他、容器に記載の注意事項及びSDS等をよくお読みの上ご使用下さい。
- 塗料の保管は密閉して、子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- 本システムは、上記塗料との組み合わせにて耐候性試験等の評価を行っております。  
上記以外の塗料を組み合わせる場合、正常な性能が発揮されない恐れがございますので、関連製品の販売をお断りさせて頂く場合がございます。

#### MOKリバプラスト m<sup>2</sup>あたりの参考施工時間/メディア使用量

素地の種類	時間	使用量
木部	1分~	0.5~2.5kg

- 素地の汚れ、形状、材質により施工時間及び使用量は変わります。
- 上記は劣化塗装面への施工を想定したものです。

推奨コンプレッサー 20馬力(15kW)~ エアードライヤー付き

- プラストタンクのエアホース接続サイズは「1インチ(25A)」のオス型です。